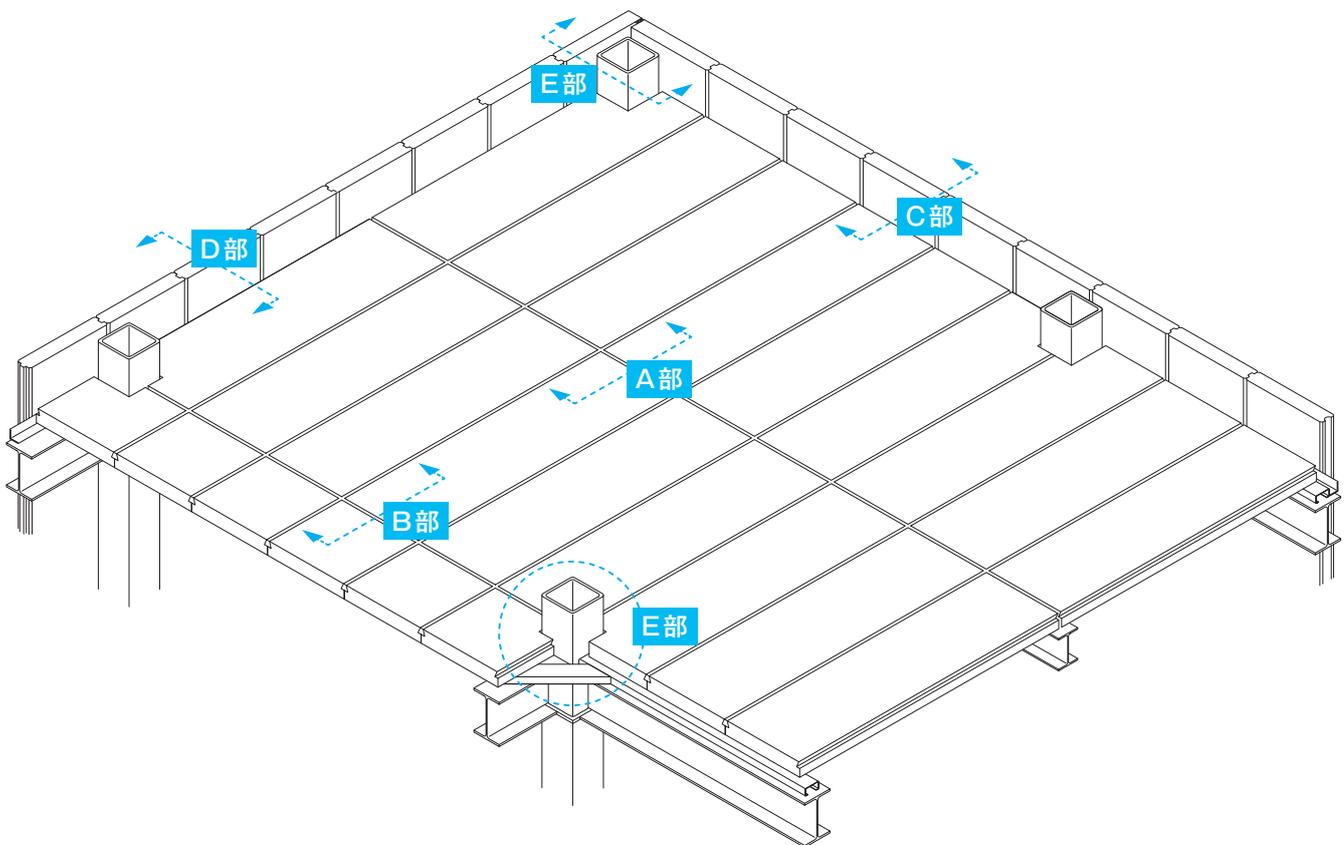


# 6 床標準構法

## 6-1 敷設筋構法

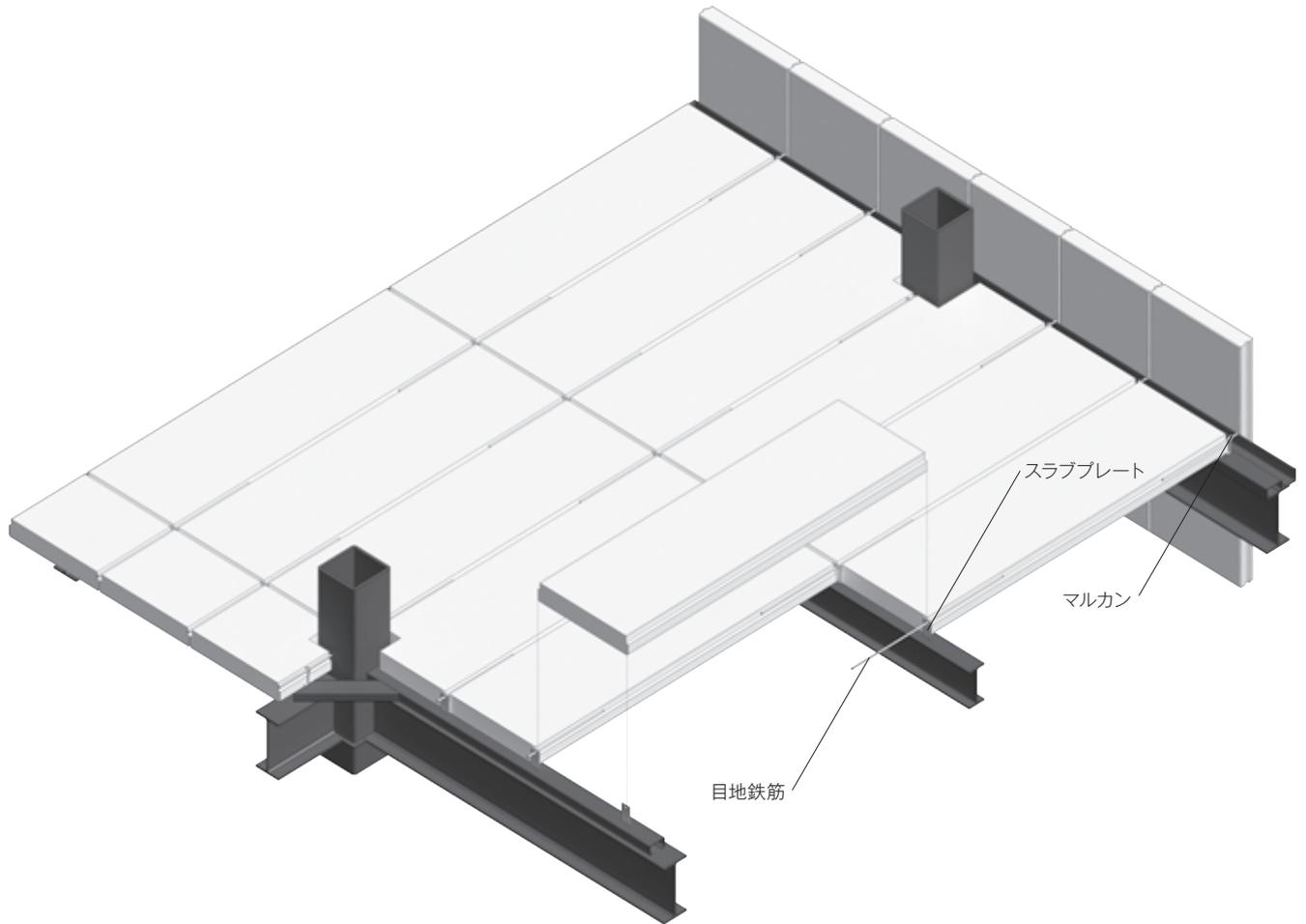
適用範囲	
設計荷重	積載荷重+仕上げ荷重 = 6,000N / m <sup>2</sup> 以下
対象パネル	100mm、125mm、150mm 厚平パネル ※ 2時間耐火が要求される場合は 125 厚以上必要となります。

### 標準構法のキープラン

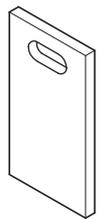


標準構法図A～Eの色文字は別途工事を示します。

## 取付構法の概要



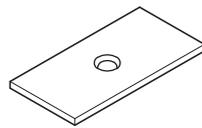
## 床専用取付け金具



スラブプレート



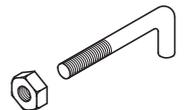
マルカン



角座金W



丸座金

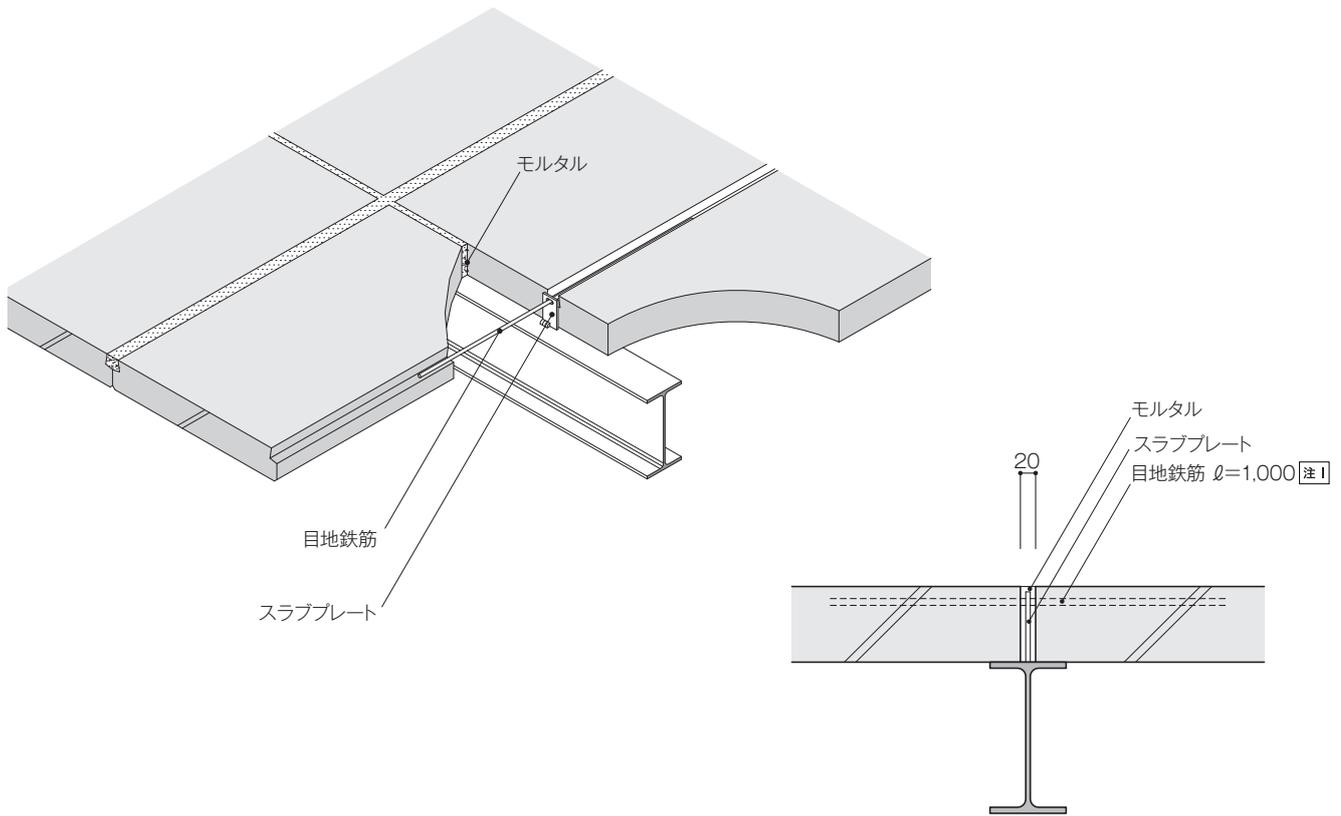


フックボルト

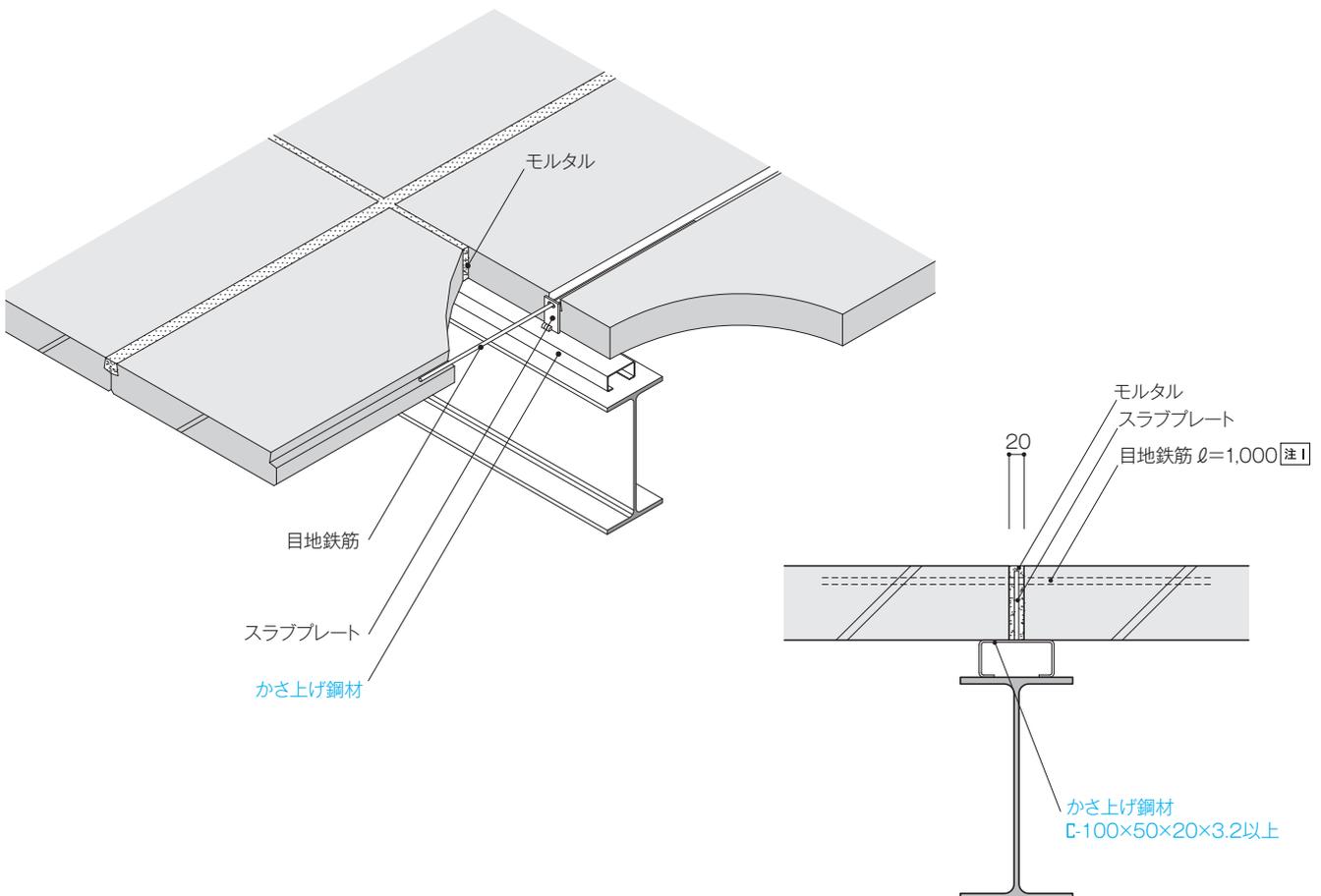
## 敷設筋構法の注

- 注1 目地鉄筋：目地鉄筋は9φまたはD10とする。
- 注2 50mm以上突き出すかフックを設ける。
- 注3 絶縁材：外壁の動きを考慮する場合必要。
- 注4 床の周辺部でスラブプレートが用いられない場合にはマルカンを用いる。
- 注5 外周部のパネル固定は、目地鉄筋とモルタルを用いる方法の他に、角座金を用いることができる。

一般部 / A 部 (小梁)



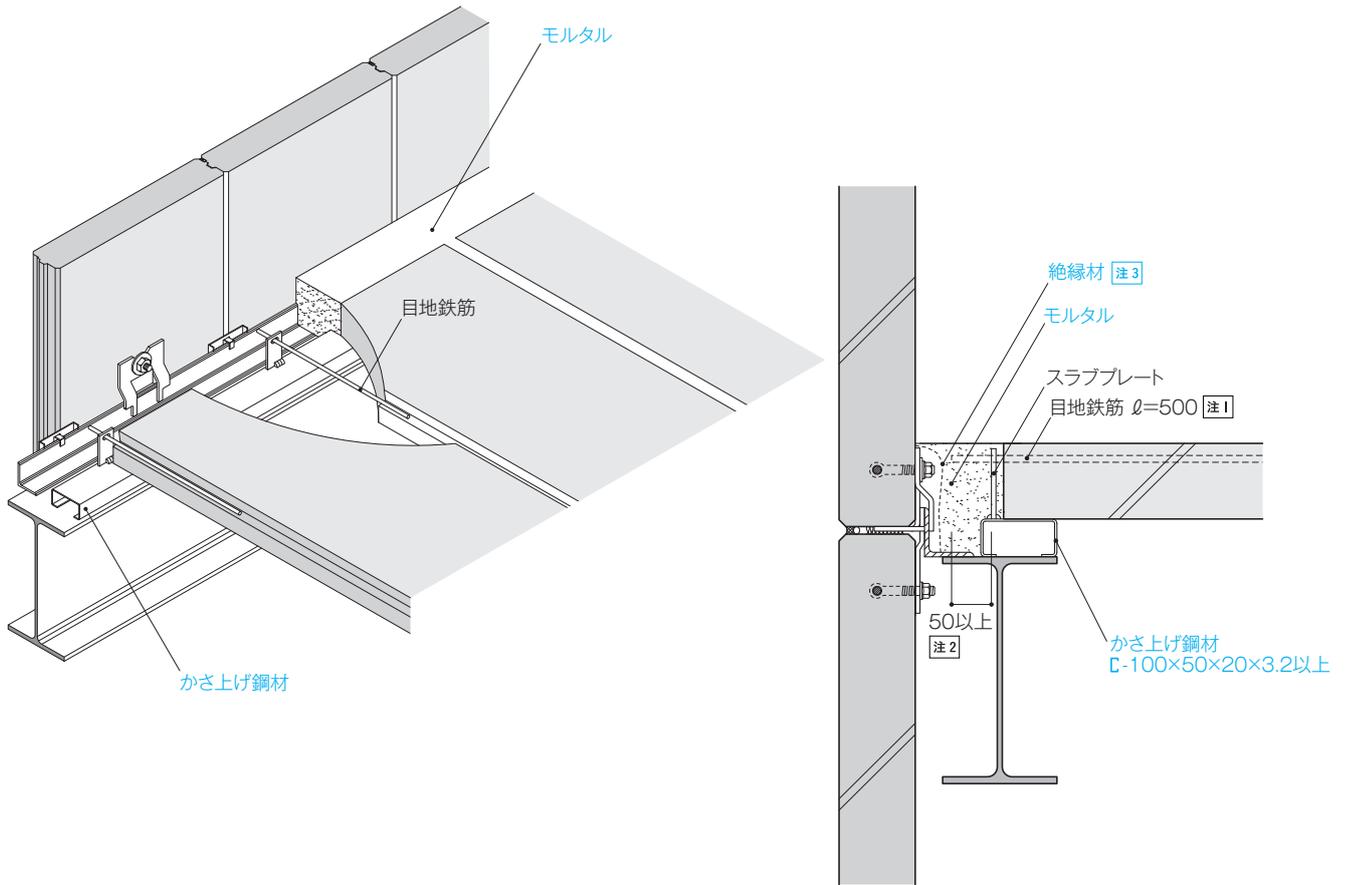
一般部 / B 部 (大梁)



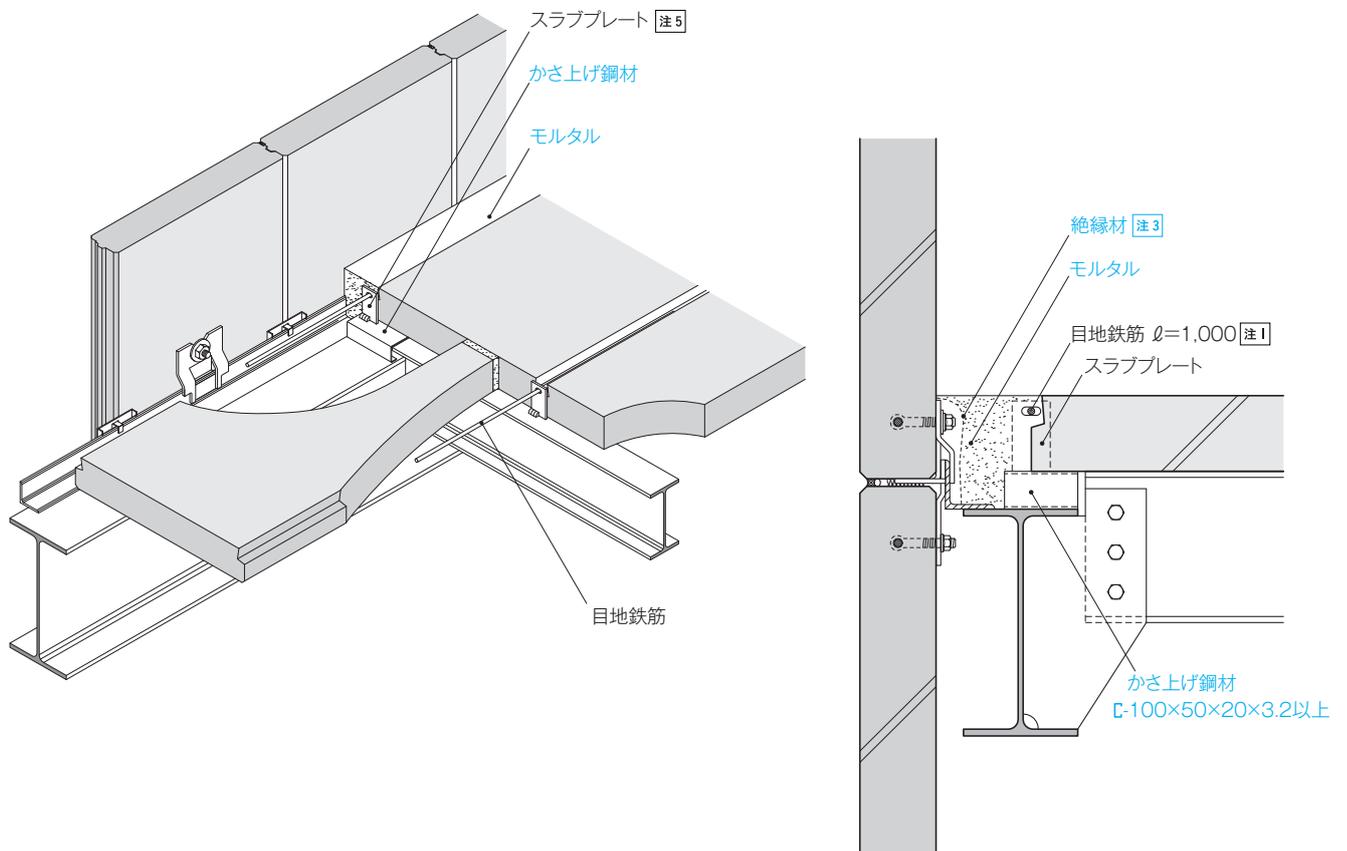
[注1] 目地鉄筋：目地鉄筋は9φまたはD10とする。

[注2] 50mm以上突き出すかフックを設ける。

周辺部／C部（スラブプレート仕様）

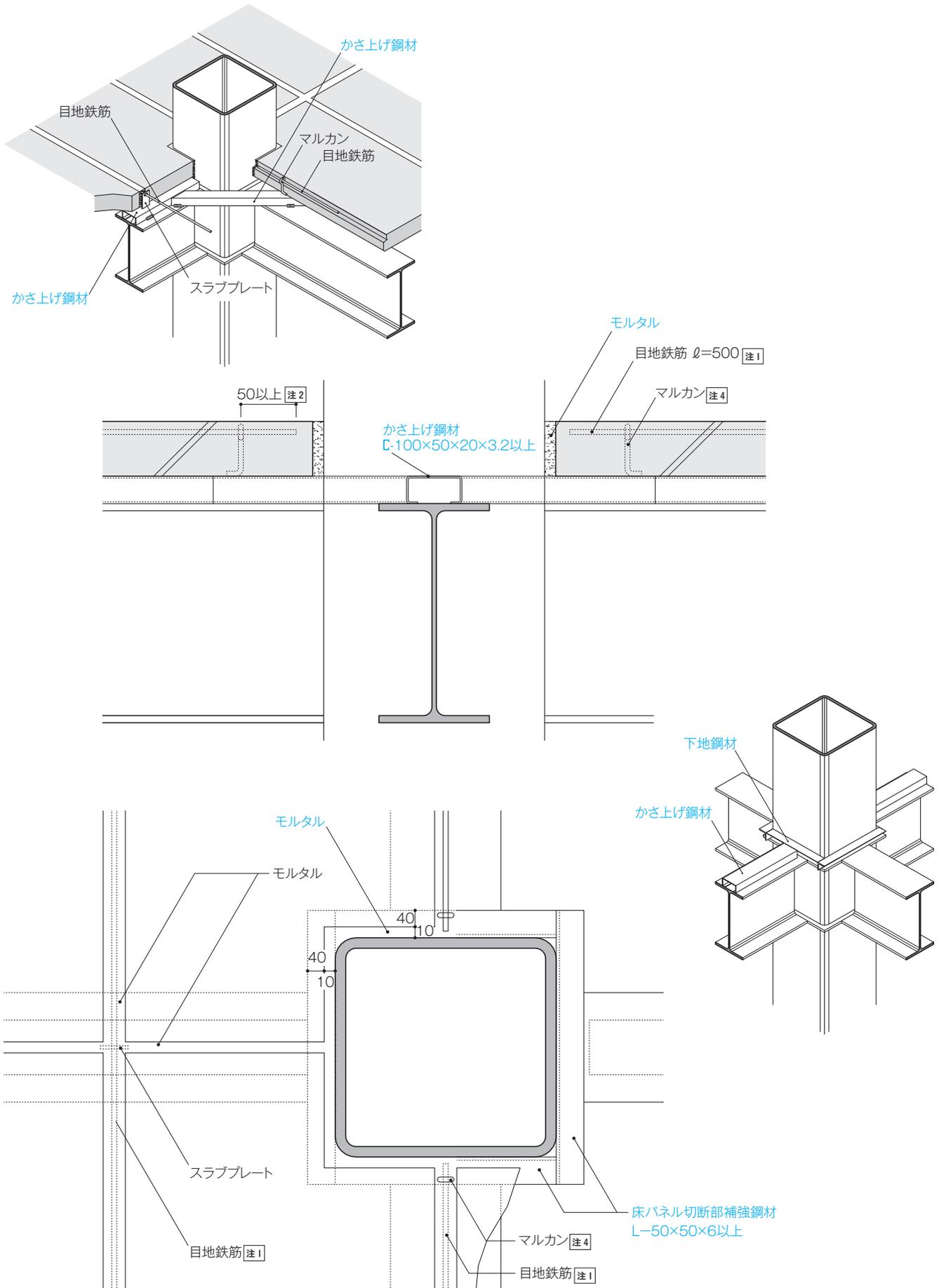


周辺部／D部（スラブプレート仕様）



注3 絶縁材：外壁の動きを考慮する場合必要。

注5 外周部のパネル固定は、目地鉄筋とモルタルを用いる方法の他に、角座金を用いることができる。

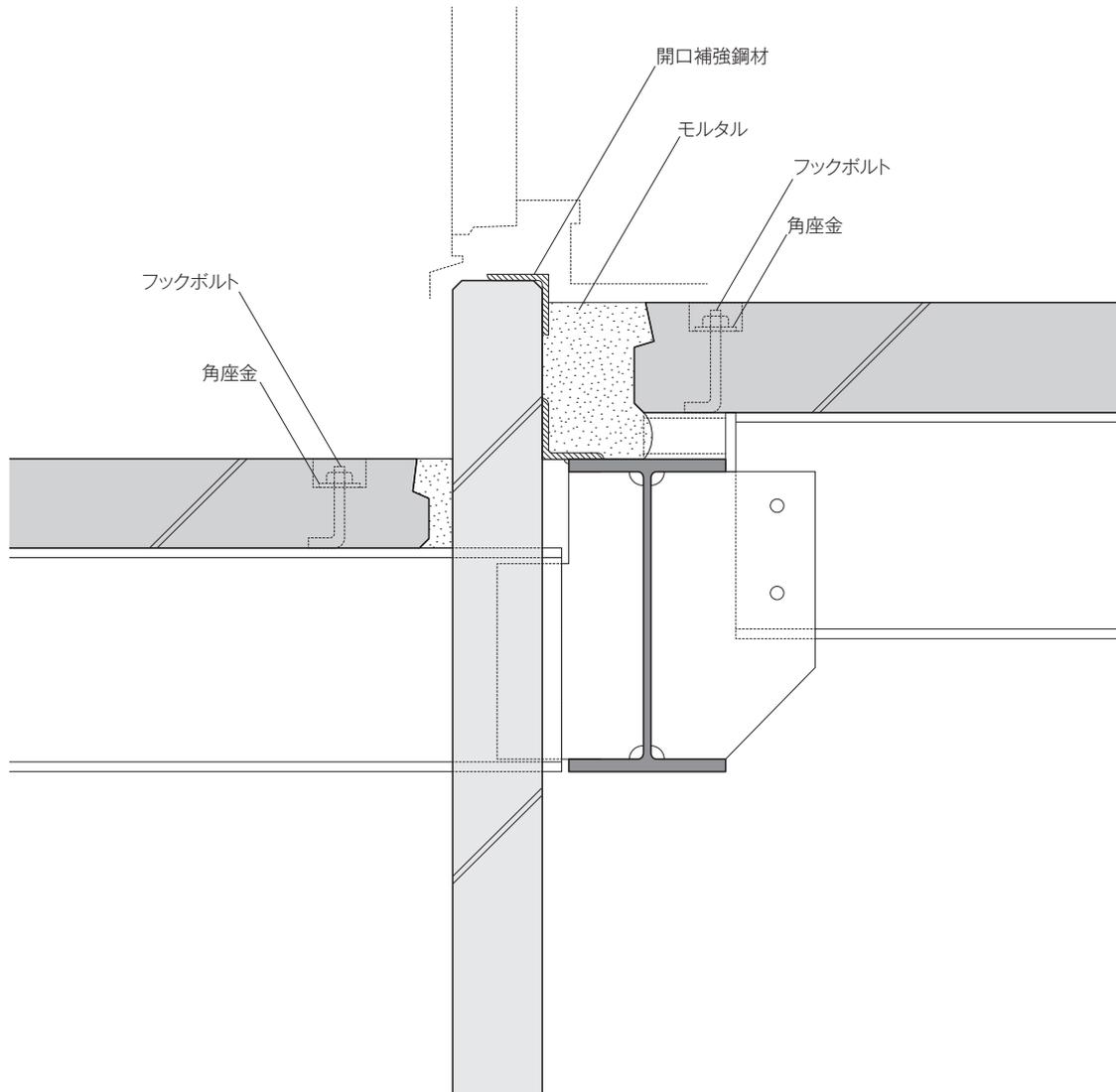


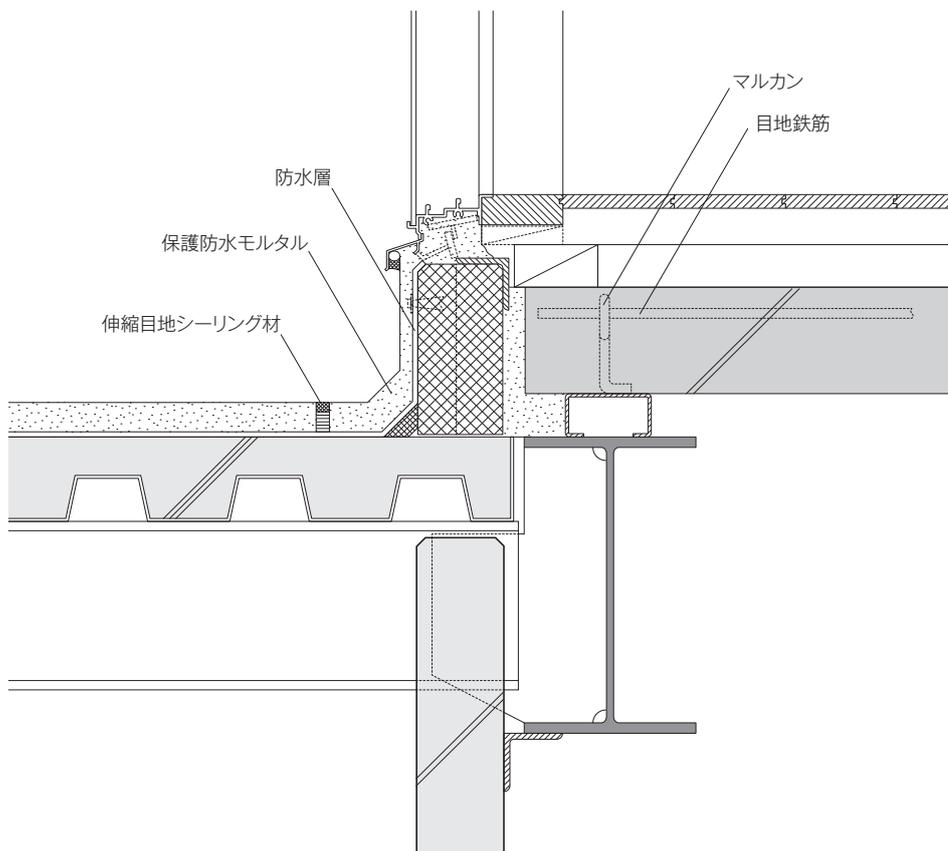
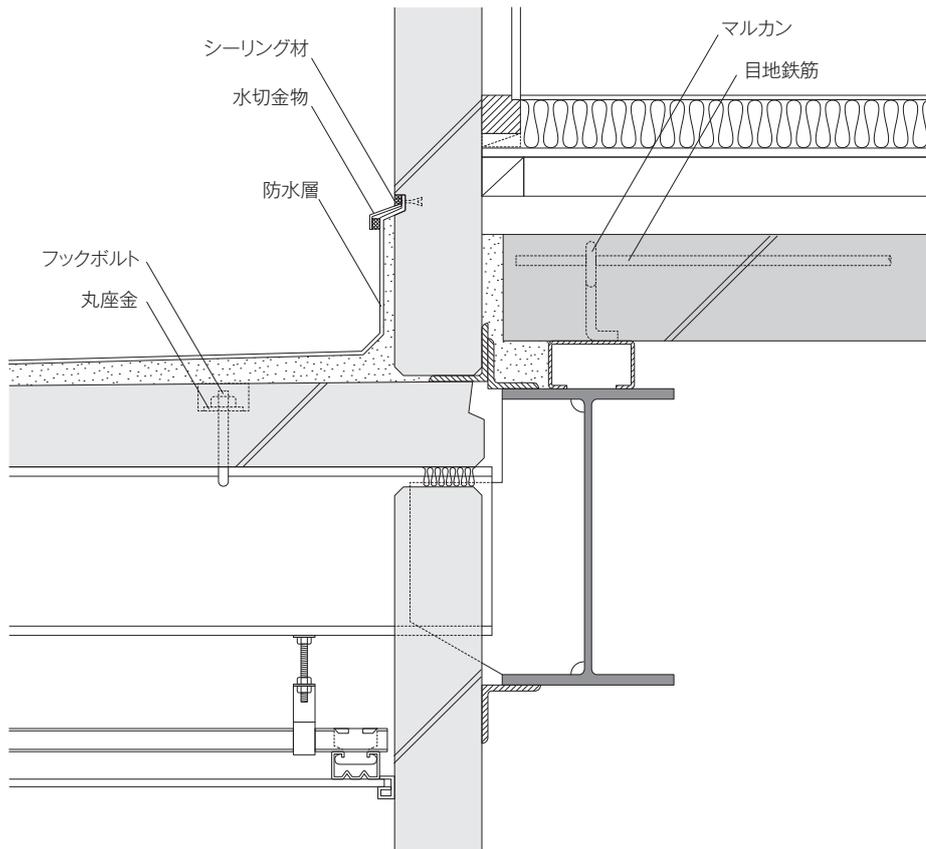
[注1] 目地鉄筋：目地鉄筋は9φまたはD10とする。

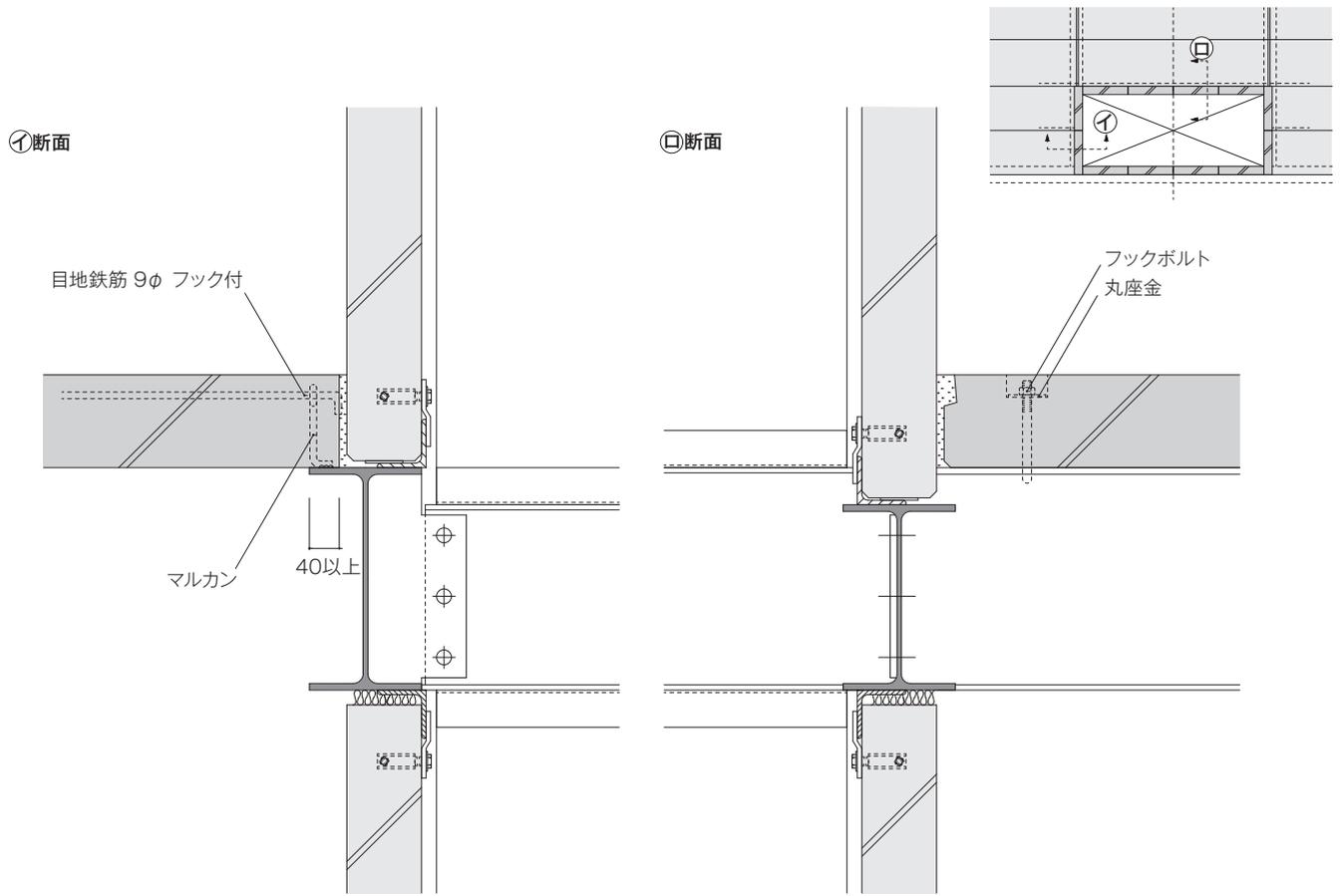
[注2] 50mm以上突き出すかフックを設ける。

[注4] 床の周辺部でスラブプレートが用いられない場合にはマルカンを用いる。

## ベランダとの境部







吹抜け部

